







# ぴーすふるシンポジウム アンケート結果

## 1.特別講演はいかがでしたか。

とても良かった	良かった
12人	2人

- 日本のマスコミを通して情報が現実の一部分であることを改めて認識させられた。
- 日本に伝わってこないタリバンとタリバン以外の人とPMSの関係を知れてよかった。又、日本に入っている情報の少なさのせいで私たちはアフガニスタンの現状を誤ってみている点があったと思った。
- 中村哲医師の後継者はいるのか?の不安は消えた。勿論感動的であった。
- ベンチャー会(中村先生)の活動はメディア報道レベルで理解していましたが直接関係者からビジュアルに理解出来、よくわかりました。尊敬いたします。タリバンとの政権の関係者が強調出来ている写真を見て安心しました。
- マスコミが伝えきれないアフガニスタンの状況がとても良くわかりました。中村先生の心は残っているんだなと思いました。

- いまだに終わらない戦争、それによる苦しみ、大変よく分かりました。その中で、創り出される様々な活動に感動し、何か少しでもお手伝いが出来たらと改めて思っています。
- ・平和と相互扶助の精神の重要性が胸を打ちました。  
・持続可能な社会なくして平和なし!抽象より目の前の事業を!
- 一般に伝わっていないことを分かりやすくお話いただきさらに興味をもちました。
- タリバンの支配になって、中村先生達が築いた用水路がどうなったか心配していたが、引き続き事業が行われているとのこと、安心しました。アフガニスタンにもっともっと用水路ができて安心して農業ができるように祈っています。
- マスコミが伝えることをどう判断するのか?タリバンについてアフガニスタンの現状について改めて深く学べ考えさせられました。

## 2.招待講演はいかがでしたか。

とても良かった	良かった	どちらでもない
7人	6人	1人

- 時代と供に伝え方を変える(リニューアル)の必要性が良く分かった。
- 戦後生まれの館長!当然の時代とはいえ、あっぱれである。資料館がリニューアルし、現存するのは確認できた。
- 当時の沖縄の状態がよくわかりました。次回沖縄訪問時必ず訪れます。改めて戦争の悲惨さ、平和の大切さ、教育の恐ろしさ等を学んできます。
- リニューアルの様子がわかりました。また行きたいと思います。
- リニューアル大変ご苦労様でした。まだまだたくさんの戦後の問題が残されています。その一つでも自分の生活の中で考え活動していきたいと思えます。

- 「ひめゆりの戦後」設置の意図が良い。Digital技術、URLバーチャルリアリティ等の活用もありがた疑似体験。
- 「展示内容を見ましょう」と話を止めると伝わらないので話続けるのが良いと思います。
- リニューアルのことはニュースで知っていた。悲惨な展示物をわかりやすく伝える工夫をしているのは良いと思う。
- 体験を証言集、昔入館。もう一度じっくり拝観したいと思っている79歳。思わず涙。
- 初めての非体験者の館長としての思いがとても大きく伝わってきました。
- 最後の証言のビデオは心がうたれました。戦争は絶対にしてはいけないと改めて思いました。

## 3.パネルディスカッションはいかがでしたか。

とても良かった	良かった
8人	5人

- 年代、経験の違うパネリストのコメントが聞けて良かった。
- 各々の立場でしっかりした考え方をもち活動されている事がよくわかりました。メディア報道では実感出来ない当事者としての立場がよくわかり自分にも影響がありました。
- 毎年、参加させていただいています。ほんのひとときでも平和について、色々な意見を聞けて嬉しい。

- 次世代へのメッセージはより広く認知されるべきだと思います。
- 平和学習のあり方への問題提起をした仲本さんの発言にハッとさせられました。
- パネラーの方々が無言で思いや考えを述べられ
- ・戦前に注目するという考えが伝わりました。  
・歴史を学ぶことの重要性を改めて感じました。

## 4.このシンポジウムを通して、あなたの平和への理解は深まりましたか?

とても深まった	深まった
8人	5人

- 「あるべき論」ではなく「共感」というキーワードが身に染み込みました。
- 平和ということばの重みを改めて感じました。事実を知っているいろいろな方面で「平和」(自分なりの定義)を考え続けること。
- 沖縄県に感謝します。有意義な企画をありがとうございます。

- これからも平和について、もっと身近な人達と語る中から一つ一つ考え、作ってきたい。
- 定期的にくいかえしこのような機会に参加することが重要。
- 若者!キバシ。教育と金を。
- 視野が大きく広がりました。ありがとうございました。

## 5.パネリストにご質問

- 皆さんが伝え方に苦慮しているが、マスコミが伝えているマスコミの伝え方とはズレがあるように感じていませんか?
- ・人間は何故殺し合い傷付けあうことを平気で行えるのでしょうか?  
・私も空襲で焼きされたひとりですが、沖縄戦は比較できない程の悲惨さですね。再認識しました。

- 平和について活動している他の地域や国の人々との対話の連携などは行われているのでしょうか。もしあれば知りたいと思いました。←答えていただきました。ありがとうございます。

## 6.沖縄県の平和に関する取り組みにご意見

- 「立場の違い」で向き合う現実が私達とは違っていたことを感じた。そのメッセージを沖縄の中だけでなく、広くひろめて欲しいと思った。
- 永遠の戦いで講義抵抗である笑である。
- 沖縄訪問時、沖縄の歴史を学べる常設の講座はないのでしょうか。(シリーズで学べる社会)例えば沖縄県の「生涯学習センター」とか「大学の沖縄学」講座とか。(オンライン学習もあるのですか?)恥ずかしながら沖縄の歴史について余りにも知識がありません。(旅行で度々訪れ

- ています(残された時間が少なくなってきました)
- 府中市在住の後期高齢者(戦後の生まれです)です。沖縄のことを勉強します。観光ではなく供養のために滞在します。孫(高1女子)を連れて行くつもりです。
- 平和賞の意義を伝えていきたいと思えますね。ありがとうございました。
- ものすごく応援しています。普天間基地即時撤去!辺野古基地ストップ!
- 基地反対運動の現場の高齢化を心配していましたが、少し頼もしかったです。





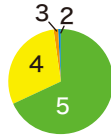
# 令和3年度 ピーすふるワークショップ アンケート結果

## 10/21ワークショップ@コザ高校

### 1. 今回のワークショップについて、あてはまるものを選んでください。

#### 1学年

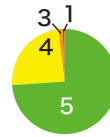
- 5: とても良かった ..... 235人
- 4: 良かった ..... 103人
- 3: どちらでもない ..... 5人
- 2: あまり良くなかった ..... 2人



### 2. 講師の説明については、いかがでしたか？

#### 1学年

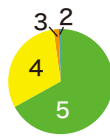
- 5: とてもわかりやすかった ..... 256人
- 4: わかりやすかった ..... 84人
- 3: どちらでもない ..... 5人
- 1: とてもわかりづらかった ..... 1人



### 3. ワークショップの進め方については、いかがでしたか？

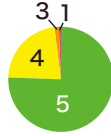
#### 1学年

- 5: とても良かった ..... 232人
- 4: 良かった ..... 107人
- 3: どちらでもない ..... 6人
- 2: あまり良くなかった ..... 1人



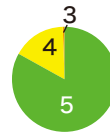
#### 2学年

- 5: とても良かった ..... 253人
- 4: 良かった ..... 75人
- 3: どちらでもない ..... 5人
- 1: 良くなかった ..... 1人



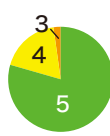
#### 2学年

- 5: とてもわかりやすかった ..... 278人
- 4: わかりやすかった ..... 55人
- 3: どちらでもない ..... 1人



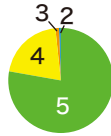
#### 2学年

- 5: とても良かった ..... 266人
- 4: 良かった ..... 61人
- 3: どちらでもない ..... 7人



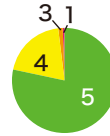
#### 3学年

- 5: とても良かった ..... 268人
- 4: 良かった ..... 71人
- 3: どちらでもない ..... 4人
- 2: あまり良くなかった ..... 1人



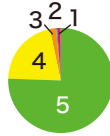
#### 3学年

- 5: とてもわかりやすかった ..... 270人
- 4: わかりやすかった ..... 68人
- 3: どちらでもない ..... 5人
- 1: とてもわかりづらかった ..... 1人



#### 3学年

- 5: とても良かった ..... 260人
- 4: 良かった ..... 73人
- 3: どちらでもない ..... 7人
- 2: あまり良くなかった ..... 1人
- 1: 良くなかった ..... 3人



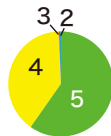
### 4. 講師やクラスメイト等参加者の発言で印象に残っているものはありますか？

- 戦争はひとりひとりの心の中から、ひとりひとりの行動からという言葉が、とても印象に残った。
- 平和にする方法は誰も分からないけど、みんなで平和に向かう必要がある
- 「嘉数の戦い」で日本兵が自爆作戦をしていたのは初めて知ったのでびっくりしましたかな
- 辛い時期を乗り越え、生き抜いた人たちでも、罪悪感を抱えている。
- ひめゆり学徒隊の方が家族にも話せなかったと言う事を知り、私の祖母と一緒にいたい、印象に残っています。
- 客観的に色々な視点で考えないといけない
- クラスメイトの疎開をしないという、自分とは逆の立場の友達の「死ぬなら皆で死にたい」という言葉がそういう考えを持つ人もいるのかなと個人的に印象に残っていました
- 平和と平和がぶつかって戦争になるかもしれない。だから、お互い平和について話し合って伝えていくことが大事。
- ほんの少しの行動から。という言葉がとてもいいなと思いました。
- 「語り継げ」とはいけません。あなた達がどうするか決めてください。
- 最後の、社会をどう変えたら戦争が起こりやすくなるかみんなの意見がとても面白かった！
- 3部のワークシートで戦争を肯定させるアイデアが人それぞれで印象に残っている
- 戦時中を生きていた方が、未だに夢に見たり夢でうなされてるということ。集団自決を目の当たりにした状況の話。
- 住民にスパイ容疑がかけられて、虐殺が起きたことは衝撃的だった
- 戦争では人間が人間じゃなくなると言う言葉と、戦争体験者の数だけの戦争があるとと言う言葉が印象に残っている。
- 戦後と戦前の境目はないということ
- 平和について教えるのではなく一緒に学ぶ共育という考え方は初めて聞いたし、同じ立場で戦争について学べた気がするのでも印象に残ってます。
- 戦争をさせるためにはという視点から考えるのが新しく面白かった。

### 5. ワークショップを通して、平和への理解が深まりましたか？

#### 1学年

- 5: とても深まった ..... 207人
- 4: 深まった ..... 137人
- 3: どちらでもない ..... 1人
- 2: あまり深まらなかった ..... 1人



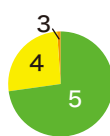
#### 2学年

- 5: とても深まった ..... 241人
- 4: 深まった ..... 86人
- 3: どちらでもない ..... 4人
- 1: 深まらなかった ..... 3人



#### 3学年

- 5: とても深まった ..... 251人
- 4: 深まった ..... 90人
- 3: どちらでもない ..... 3人



### 6. ワークショップを受講する前と後では、あなた自身の平和に対する考えに、変化はありましたか？

#### 1学年

- 5: とても変化があった ..... 75人
- 4: 変化があった ..... 215人
- 3: どちらでもない ..... 26人
- 2: あまり変化はなかった ..... 20人
- 1: 変化はなかった ..... 10人



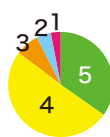
#### 2学年

- 5: とても変化があった ..... 113人
- 4: 変化があった ..... 161人
- 3: どちらでもない ..... 20人
- 2: あまり変化はなかった ..... 20人
- 1: 変化はなかった ..... 20人



#### 3学年

- 5: とても変化があった ..... 120人
- 4: 変化があった ..... 174人
- 3: どちらでもない ..... 25人
- 2: あまり変化はなかった ..... 15人
- 1: 変化はなかった ..... 10人

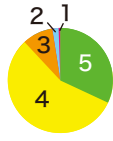


- ロールプレイや戦争を起こす方法などのゲームのような形式でやっていて面白かったけど平和に対する意識が深まったのかなと考えたら違うと思った。
- 戦争について、これまで体験した話を聞いても分からなさすぎでピンと来なかったけど、今日の授業ではお互いに戦争について分からない状態だったから話も入りやすかったし、戦争を体験しなくても知る必要があるのだと感じさせられたから
- 自分がどれだけの時代に生まれたか分かった。
- 日本兵側、アメリカ兵側、民間人側のある目線から戦争について考えることができた。
- 私は平和は少し難しいと感じました。「戦争をすることで平和になる。」と信じて国民は戦争に賛成していたので、平和は難しいなと思いました。
- メディア、教育、法律、エンタメの目線から戦争について考えたから。
- 私は戦争をする事は悪い事だと思わない。酷くて可哀想だと言う事は分かるけど、勝敗が商
- なぜ一般民の被害が多いのか分かった売になっている戦争をとめると世界はうまく回らなくなる気がする。平和を守るために一人一人の意識を高めるのではなく、自国への関心や他国との間にある境目の意識をなくす事、または妥協できる精神を持つことが大切だと私は思っています。
- 軍目線で沖繩戦を見るのが初めてだったから
- 生き残って幸せなはずだけど、自分だけ生き残ってしまったと考えてしまう人たちがいるのを見て、生きるだけが幸せじゃないのと思った
- 今ある平和がいつまでも続くとは、限らないとわかった。
- 今までに受けてきた平和授業で、既に戦争の悲惨さを知っていたので、二度とそのような悲劇を繰り返してはいけないという意見に変わりはありません。
- 怖くて話せなかったのに未来に繋こうと話してくれる人がいるのでそういうのを聞いていかないといいかなと思った
- 小学校からたくさんの平和学習を聞かせていただけてその中でも高校生になった今自分の考えや社会の状況などを理解できる今だからこそその時の大変さや苦しみより深く知ることが出来たと思う。
- 今までは戦時中の事を沢山勉強してきたけど今日の講演会では戦争が起こる背景だったり戦後の事も沢山勉強出来たから

7.あなたの周り(学校や家庭)、社会が平和であるために、あなたは今後何かしたいと思いますか？

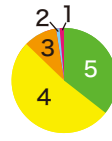
1学年

- 5:強く思う……………111人
- 4:思う……………194人
- 3:どちらでもない……………33人
- 2:あまり思わない……………7人
- 1:思わない……………1人



2学年

- 5:強く思う……………119人
- 4:思う……………173人
- 3:どちらでもない……………34人
- 2:あまり思わない……………4人
- 1:思わない……………4人



3学年

- 5:強く思う……………134人
- 4:思う……………170人
- 3:どちらでもない……………35人
- 2:あまり思わない……………4人
- 1:思わない……………1人



- 自分から行動しないや何も変わらないと思うし小さなことからでもできることはたくさんあると思うからです。
- したいけど何をすればいいのかわからない
- みんな仲良くすることが1番大切だとおもった。
- 1番は自分が平和ですごしたいからです。また平和になって家族や友達とずっと一緒にいたいからです。
- 周りの人の幸せも含めて、自分の幸せだから。
- 大人になったら選挙に参加しようと思う。
- 逆に平和にしたくない人っているんですか
- 戦争を応援するような国になってはいけないと思ったから
- 小さな喧嘩も小さな戦争。小さいことでも行動します。
- もっと政治に詳しくなる事
- 今は何から始めたらいいかわからない
- まず、沖縄で起こった戦争のを知る必要がある!
- 憲法第9条がある限り、戦争は起こらないと思うから
- 今は学生だからまだ大きな事はできないけど、大人になったらいつか平和を維持するための取り組みに関わってみたいと思う
- 自分一人でも平和を望まなかつたら平和にならないと思うから
- 未来は、自分たち世代にかかっているから
- ニュースを見ていると、戦争が自分達の身近にある感じがするから。
- みんなで平和についてシェアしていきたいと思いました。
- 私は元々平和大使で戦争が起きないように平和を継続するために活動してきました。そこで今回もワークショップを行って自分自身ができること改めて深く考えることができました。これからは、SNSなどを通して沢山の若い世代に平和の大切さや戦争の残酷さを発信して後世に

- 繋げたいと思いました。また沖縄市では平和大使を中学生が中心となってやっているのですねを高校生でもできればいいなとも思いました。
- 高2になってからよく平和などについて考えるようになったのですが、あまりにも戦争に対しての認識が日本は遅れてると思います。いわゆる平和ボケがすごいと思ってしまいます。そんな中、今もどこかで紛争などに苦しんでいる人がいる。今の自分では抽象的なことしか言えないけど、この不条理な貢献できる大人になる為に、今は勉強を頑張ります。
- 政治や世の中で何が起きていることに目を向けることで戦争を起こさないことが自分にもできるから
- 直接的には出来なくても、戦争万歳という考えをさせないために、間接的には関わることが出来ると思うから
- 沖縄戦みたいに、亡くなる人が増えるのはイヤだし、スキな人がいなくなるのは、イヤだし、人間じゃなくなるのがイヤだから。
- 少しでも協力したい。
- 平和について友達や家族などに自分から考えを発信して、一人一人が考える場面を作りたい。
- 祖母の話や聞くことはできるかなと思った。
- 選挙で9条改正反対を訴えることしか出来ないから
- 家族を戦争で失うのは絶対に嫌だから、少しでも自分が出来ることあれば取り組んでいきたい。
- 私の姉もにつきーさんのような活動をしているので、いつかは携って「共育」をしていきたいと思いました!
- 戦争で死にたくないから
- 雰囲気維持するためには政治体制が大切だと思うから、三年生は選挙権があるから選挙に行かないとって強く思えた。
- 日本は今、70年前のような社会の雰囲気になりつつあると感じました。だから、平和な世の中にするために、私自身周りの人に親切にしたり、思いやりを持っていきたいです。

8.今回のワークショップについて、質問・感想を自由にご記入ください

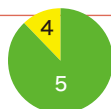
- 小学校の頃から平和学習とかやってたけど、高校生になってまた詳しく勉強できて良かったなあって思いました。今日の学習で全て知った気にならず、もっと知っていこうと思いました。もし自分が戦争の時にある立場であればどこに逃げるのか判断がとて難しくすぐに亡くなってしまうのではと思いました。これからは戦前にならないように、私たち国民が戦争の怖さについて良く知り、戦争を反対していこうと思いました。
- 自分は沖縄戦のことを今まで知らずぎていたなと思った。今回の講話のなかで、戦争の悲惨さやつらさを知ったのもっとよく知りたかった。
- 小学校や中学校で行ってきた平和学習は戦争体験者や遺族の方からお話を聞くことが多かったのですが、今回のワークショップで狩俣さんは23歳という若さで私たちに平和について考えることができたと思うのですごくいいワークショップだったなと思いました。また、狩俣さんの「沖縄戦で生き残り心に傷を抱えている方達がなぜ私たち若い世代の私たちに戦争体験を話してくれるのかを考えてほしい」という言葉を聞いてすごく胸に響きました。今日自分が思ったことや平和の大切さや世の中を平和にするために私たちが本当に行動できるのかなど学んだことを今後活かしていけるようにしていこうと思いました。
- 私は今日自分に置き換えて選ぶやつが、とても印象に残りました。なぜなら、もし私があの時選んでいたら、対馬丸でなくなっていたからです。また、4人に1人がなくなると考えると、とてもこわいとかんじました。なので、本当に戦争は、一つの判断で簡単になくなる事が今日わかりました。
- ずっと戦争について語り継ぐ事が私たちに出来る事だと思ってたけれど、他にもできることがあるかもしれないと思って、今の状況を考えて直すことが出来ました。やっぱり命の大きさや、戦争を体験した人の気持ちを完全に分かってあげることが私には出来ないかも知れませんが、でも、友達を失うのは辛い。戦争は、今起きているだけであって、将来はもしかしたらまた戦争が起こっているのかもしれない。今と昔では違うからこそ違って違う形になってそれが現れると思います。なので、私は平和について考えたいと思います。
- 私の曾祖母が沖縄戦体験者で逃げているときに、ある男の人から手榴弾を渡され、捕虜になるくらいならこれで死にささいと言われたそうです。その男の人は手榴弾で亡くなったそうでその時の破片が曾祖母のおでこの横にあたり、へこんでいるそうです。曾祖母は死ぬという選択はせずに、自分の子どもを守ることにしたそうです。曾祖母が生きる選択をしてくれたから今の私があるので、繋いでくれた命を大切に生きようと思いました。
- オンラインだからつまらないかと思ったけど、クイズ形式で戦争の話をしてくれて、とても楽しかったし、学習できたし、とても良かった。
- 本当に戦争の中にいるかもと考えられる平和学習は初めてだった
- 戦争について色々知れて最後の「戦争をするためには」を自分達で考えてメディアなどに誘導されないようにしたいと思った
- 定期的にするべきだと思った

- 沖縄戦のことを平和学習を幾度となく受けてきたが、今日のようにワークをしながら楽しく、かつ分かりやすかった平和学習は初めてだった。知らなかったことも多く、知っていても曖昧だったことなどもちゃんとこの機会であって良かったと思う。これからの平和学習も今日習ったことなどを活かし継承していこうと思う
- 今までとは違うワークショップだったけどわかりやすく教えてもらえてよかったです。
- 親しみやすい方法での説明でとても分かりやすかつし、軍側の視点住民側の視点両方あったりしてすごく深い内容だったと思う。ありがとうございました。
- 写真とかも交えて説明されていて分かりやすかつた
- 今回の平和学習では新しいやり方で心に染み入る場面が多々あった。しかも講師の方は20代という若さで戦争の悲惨さを教えていることはまた凄い事だな思った。若い世代には若い世代なりの伝え方があるのでそこに関しては自分も出来ることは全力でやっていきたい。
- 人を洗脳することはあまりにも簡単だと思った。戦争を起こした方がいい教育やインフルエンサーによって戦争のメリットを伝える武器の使い方の授業をするなど人々に戦争を起こさせる気を起こすのは簡単だからこそ逆に平和な意識を植え付けることも大事だとわかった
- これからもずっと戦後を保っていきたくて思った。
- 約80年前にこの沖縄で戦争があつたことが想像もできないけど、これは沖縄の人が二度と起きないようにしないと決めた感じがした。沖縄に生まれたからには忘れてはならないと思った。
- 講師の方が言っていた『ハクソー・リッジ』という映画を私は父と見たことがあります。自分も同じ戦場にいるんじゃないかってほどいつ見つかれば殺されるのか、がとて怖く、容赦なく銃を撃つアメリカ兵が悪魔のようにみえました。昔の人々はこれを体験してたのかと思うと、本当に苦しい気持ちでいっぱいです
- 平和活動など普及することは難しいので、自分の中での戦争に関する知識をもっと増やし少なくとも自分の意見は持てるようにしようと思った
- 体験談をきいてより、リアルを感じました。みんなが参加できる質問形式だったので分かりやすく楽しくワークショップに参加することが出来ました!!!自分の知らない戦争のことなどを沢山聞いたの今日聞いたことを繋げることが出来たらいいなと思いました。
- 戦争はどちらも違う正義のぶつかりなので完全になくするのは難しいのかなと感じました。
- 今まではずっと講師の方の話を聞くだけの講演会がほとんどだったけどロールプレイなどのアクティブな感じの講演会でとても楽しかったです
- 事件の名前とか聞くことが多かったけど、何故この結果になったのか等の細かい経緯だったり内容を簡潔に知ることが出来た平和学習は初めてだったのでとてもよかったです。
- もし戦争をするならという視点で考えたのは初めてだったので良いなと思いました。
- 講師の方の話や当時の住民の立場でのロールプレイワークによって沖縄戦について多くの事を学ぶ事ができました。
- 物事の表面だけで判断せず何かが正しくて何が間違っているのかを考えることは大事だと思う。

## 11/10ワークショップ@中部農林高校

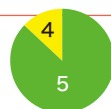
### 1. 今回のワークショップについて、あてはまるものを選んでください。

- 5: とても良かった ..... 33人
- 4: 良かった ..... 6人



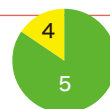
### 2. 講師の説明については、いかがでしたか？

- 5: とてもわかりやすかった ..... 34人
- 4: わかりやすかった ..... 5人



### 3. ワークショップの進め方については、いかがでしたか？

- 5: とても良かった ..... 33人
- 4: 良かった ..... 6人

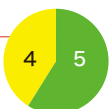


### 4. 講師やメッセンジャー、クラスメイトの発言で印象に残っているものはありますか？

- 戦争ができます。が印象に残っている。
- 「戦争ができます」がちょっとこわくて印象に残った。
- 18歳になったら選挙権が与えられるが、どんな人がいいのかしっかり考えて投票する。
- 隣国と関係が悪化している時話し合いだけで解決しないことが分かりました。
- 沖縄戦で亡くなった人の多さと、戦争がどういふものを改めて実感しました。
- グループ内の人が言っていた「結局戦争につながってしまうね」という言葉。
- 平和は皆で作るもの。
- A・Bの二択問題が出てきたり、ところどころ質問があったのでとてもよかった。
- 「たこつぼ作戦」という言葉が印象に残った。自分の命を犠牲にしても国のために戦うんだと今では考えられないと感じた。
- メディアなど、色々な方法を使って若者～高齢の方に平和のありがたさを伝える。
- 戦争は国民の応援からなっている。
- グループ学習のときに話し合いで現実を突きつけると発言したのが印象にあります。
- 平和は自分たちで作っていくと言っていたのが印象的です。
- にっきーさんの「平和のために思っている事が抑止力のためにってなって、それって本当に平和なのか？」という言葉が印象に残りました。

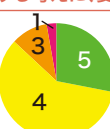
### 5. ワークショップを通して、平和への理解が深まりましたか？

- 5: とても深まった ..... 23人
- 4: 深まった ..... 16人



### 6. ワークショップを受講する前と後では、あなた自身の平和に対する考えに、変化はありましたか？

- 5: とても変化があった ..... 11人
- 4: 変化があった ..... 23人
- 3: どちらでもない ..... 4人
- 2: 変化はなかった ..... 1人



- ちょっとした行動が平和につながるとわかったから。
- 地図を使って沖縄戦がいつどこで何が起こったのかくわしく知れました。
- 平和学習は何回もやっているから、戦争は起きたらだめという思いは変わらない。
- 平和になるのは簡単ではないとこの授業を受けて分かったから。
- 自分や周りの人のことをおもってやったことが戦争をあとおししてしまう可能性について知り、考え方や味方を変えてみるといいと思ったから。
- 平和への理解は深まったが平和のために何をしたらいいのかという疑問ができたからです。
- 私は、今この平和な世界に生きている事に感謝しなきゃと思った。
- 戦争体験者の話を聞いても想像があまりつかなかったけど、平和について考えるきっかけになりました。
- 最初は自国を守るために軍は必要だと思っていたけど、各グループの発表を聞いて変わりました。
- 平和は簡単に作れるものではなく、一人一人の考えや意見が異なるのでとても難しいと知ったから。
- 「二度とあのようなことはなほしくない」そのために私はどんなことができるか考えることができた。
- もっと戦争について知りたいと興味が変わった。
- 一人一人の意見があり、みんなの意見が必ずしも一緒とは限らないということを知りました。
- 平和は自分の国だけかと思っていたが平和は世界全体がなることだと感じました。

### 7. あなたの周り(学校や家庭)、社会が平和であるために、あなたは今後何かしたいと思いますか？

- 5: 強く思う ..... 13人
- 4: 思う ..... 21人
- 3: どちらでもない ..... 3人



- 人に対する悪口を言わないようにする
- 2・3年後には選挙権があるから、しっかり考えて投票していく。
- もっと自分達の意見を伝える、自分達から変わる。
- 国を治める政治家がどういふ政策を行うか、注視していきたいです。
- 一人一人の行動が平和につながっていると分かったから。
- 人に悪口を言わない。
- 戦争の無い社会を目指したいからです。
- 自分の国でおこっている事についてくわしく知る必要がある。
- 戦争を体験した人が思いださないよう、権力とか武力は使わないで、話し合いで解決していきたいなと思いました。
- 一人の意見では何も変えることができないから。
- 平和になるためには、どうやったら平和になるかわからない。だけど、必ず平和になるための方法があるかもしれないと思ったから。
- 下の年代の子にも話をしていきたいと思ったから。
- 一時的な判断を変えることができて結局は戦争になってしまう。
- 一人でも行動を起こせば、周りの人も行動すると思うから。
- 平和に対する考えを自分たち若者が伝えれば、少しでも良い方向に変わるかもしれない。

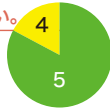
### 8. 今回のワークショップについて、質問・感想を自由にご記入ください

- いくつか、どこで、何が合ったのか地図を見ながら学習したので分かりやすかったです。
- 戦争や平和を毎年やる平和学習よりも深い話が聞けたので、ワークショップの授業に参加できてよかったなと思いました。
- 沖縄戦のことをあまりよく知らなかったし、平和についてじっくり考える時間もないので、良かったなと思いました。
- 平和や沖縄戦について学ぶことで、グループで協力したり、お互いの考えを言えてよかったです。
- 色々な考え方や見方を知ることができたなと思います。
- 平和がどのようにいじられているのかを考えてみようと思いました。
- ワークショップを通して平和について考えることができたのでとても良かったです。
- 考えが少し深まったかな？って思った。
- 今回のワークショップで、自分の国がとても平和だという事について知れたとしても幸せだなと感じることが出来ました。もう二度と戦争をおこさないように自分たちで出来る事をよく考えていきます。
- 平和とは何かを考えるきっかけにもなったし、今後じっくり話を聞きたいと思われました。戦争のおそろしさについて、理解することが出来た。
- 今までの平和学習で、一番わかりやすく、深く考えることができた。沖縄戦がどんな目的で戦争がはじまったのか初めて知ることができた。改めて沖縄戦について、平和について勉強していきたいなと思いました。
- 改めて平和について戦争の恐ろしさについて学べました。戦争のない平和な日々が続いてほしいと思いました。
- 今まであまり戦争や平和に対しての意識が高い方ではなかったけど、受講して意識が高まった。
- 受講する前はあんまり戦争のことがわからなかったけど、受講した後は今まで習ったことが学べました。
- 人間である以上、他人と比べることがあるため根本的に争いは避けられないと思った。
- グループ内での相談や話し合いがあったので、とても参加しやすかったし、楽しく学ぶことが出来ました。
- 初めて知る事がたくさんあったし、グループで話し合えてよかったです。
- 未来である以上、二度とあのようなことを二度起こさないようにするためには、76年前にあった悲惨を忘れず後世に伝えていくことだと思いました。
- 最後の投票のやつはとても良かったと思う。いろいろ考えさせられた。
- 戦争体験者のお話のカードを読んで、とてもむごかったし、こわいなって思いました。平和っていいなって思いました。

# 12/9ワークショップ@沖縄国際大学(2回目の授業)

## 1. 今回のワークショップについて、あてはまるものを選んでください。

- 5: とても良かった ..... 53人
- 4: 良かった ..... 11人

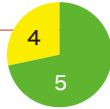


## 2. ワークショップの中で印象に残ったのは?

- 1×200,000の視点から見た沖縄戦について。
- 講師が若く見えた。というのも、こんな若くしても多数の生徒を前にしても詰まることがなく場数を踏んでいる。授業の導入が体系化されて素晴らしい印象でした。
- 私が印象に残ったのは、自分ならどう戦争を作るか考えたことです。平和を学ぶためにまずは自分が戦争をどうコントロールするかについて考えることが斬新だと思った。
- 月曜日に行ったロールプレイングの授業が印象的でした。2日目の選択で説落してしまっただけ、戦争の理不尽さが知れた。
- 生存ゲーム。疎開するかしないかだったり、当時自分が生きていたらどこに逃げるかという質問で対馬丸のことだったり、どの地域が激戦区だったか知っていたにも関わらず、死んでしまう選択を選んできたので、自分が思っているほど沖縄戦のことを理解していないんだと感じた。
- 開戦までには大まかな流れがある。メディアやSNSの活用していくことで戦争への意欲を国民におおることが出来る。また、教育・法律などの戦争に向けて変えていくことで国民を洗脳することが出来る。これらを含めて戦争をしないためにもメディア、SNSなどの情報を鵜呑みにせず取捨選択していくことが大切だと思う。
- 今が戦前になっていないかという考え方は非常に重要だと思う。現状、世界各地で戦争のきっかけになりそうなことがたくさんあるのでその考え方に立ち戻る必要があると思う。
- 大半の戦争は国民から応援される形で始まっているという言葉に人から応援されると確かに名誉に感じてしまうと思った。
- 戦前から見る戦争は国がメディアや教育を通して戦争に向かっていく雰囲気を作って応援されて始まるのが大半というのが印象的だった。
- 朝の講義はとても眠くて少し居眠りをしてしまうが、考えたりすることがあったり、面白くて寝る余裕がなかった。

## 3. ワークショップを通して、平和への理解が深まりましたか?

- 5: とても深まった ..... 46人
- 4: 深まった ..... 18人



## 4. 「今の社会」が「過去の沖縄戦」と重なっている部分はありますか? (ワークショップを通して考えたこと)

- 米軍基地を押し付けているところ。構造的差別。  
日本のことではありませんが、アメリカなどではフェイクニュースを流し国民を荒立てることで政治を動かしている印象がありこういった事を聞くと重なる部分もあるのかと感じました。SNSでたたいたりすること。コロナの影響で情報が本当なのか嘘なのか分からない状態にある。  
メディア、エンタメは当時の沖縄と比べ発展しているのでより戦争をおおることが可能になった脅威が出来た。  
戦争は仕方ないという考えがあること。(イメージで)  
SNS上でよくみられるが、人々との罵り合い(誹謗中傷等)  
憲法の改正案。税金の引き上げ。  
今のところないのかなと思う。メディア支配されていないし、教育も戦争を非難することばかりなので、ないのかなと思う。  
軍事費を増やしてこうという動きや憲法解釈を変更した例をだしてしまっただけのこと。  
昔より便利になった世の中ですが、邪魔なものや不必要な存在をみんなてつぶそうとするのは同じだと思います。  
ネットニュースにおける偏った目線からの情報は昔の日本の情報統制と似ていると感じる。  
戦争を作るというワークショップを通してどのように戦争を構成していくかという部分について今も昔も考え方は似ているものだと思います。
- 戦争への危機感がなくなっているように思います。  
それはあんまりないと思うけどその反動で米兵に対して厳しくなりすぎていると思う。  
今の社会では法律が変わり戦争の出来る国作りをしているような気がしている。  
SNSでは若い人が印象操作を行ってデータや資料をニュースで流していることがあり、過去のメディアによって国民が戦争を行うのは正しいと考えるように導いていると感じた。  
やろうと思えばいくらでも戦争の正当性というのを主張できること。  
国家による「間接民主制」という名を用いた。実質的な独裁政治は、今も昔も変わらないと思う。  
日本が韓国、中国などと仲が悪くなっているところだと思う。  
憲法改正が一番近いと思った。  
第九条について。  
SNSでは若い人が情報で感情に流されることが多々あり、これは戦前や戦時中の国民と重なるものがある。  
情報操作がしやすいSNSなどで間違った情報がすぐ広まっていくことで人々を洗脳しやすい雰囲気がある。  
辺野古基地移設が憲法改正などを行うところが戦争へと近づいて行っていると感じる。

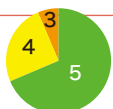
## 5. 今は戦後76年。しかし、戦前??年かもしれない。今を戦前にしないために、あなたができることは何ですか?

- 戦争をしていいという社会を作っていくためには若者が積極的に選挙に行き授業(自分の意見)。声を上げ続けていくこと。
- 沖縄戦について今一度考え周りに広めていく。
- 私たちは戦争を体験したわけではないが、戦争体験者から直接聞くことが出来た世代であると思うので次の世代によりリアルに伝えられるように情報を得る努力をしなければいけないと思いました。
- より多くの人に平和でいることの幸せや戦争をすることの怖さを知らせることが出来るかなと思った。
- 講演の際に大半の戦争は国民からなっている。との旨があった内容をみて我々国民が戦争の決定権を掌握していることが分かった。しかし私自身というよりむしろ、大多数即マジョリティのレベルで戦争をしないという雰囲気づくりが必要だとも感じた。日露戦争の反戦を唱えた幸徳秋水、黒岩涙香、与謝野晶子、大塚楠緒子等いたか? 結局少数派に過ぎずマイノリティの意向は反映されにくいと感じた(助長された)
- 情報を多く浴び、情報を見極める力をつける。発信する。
- 言論統制(表現規制)等の法案が可決する前に投票にちゃんと行くなどして待たせかける。
- SNSで偏った意見を見すぎない。
- 戦争を語り継いでくれる人がいて学ぶことが出来るのでこの学んだことを次世代にも話して伝えていくことが大事だと思う。
- メディアが発信している情報を鵜呑みにせず、疑いを持ちながら正確に判断できるようにしたい。
- 今日のことを伝えていくというのとはちろんだが、戦争につながるような法律などを作らないように選挙に行くことも大事だと思う。
- 情報を1つとことから集めず、色々な情報を集めて信頼できるか見極める。
- 戦争についてしっかり理解し自分には何が出来るか考え意見を言うようにする。
- メディアやインターネットの情報をまずは鵜呑みにしないで疑った目でみること。
- 戦争の知識を県民1人1人がもっと深め、その知識を後世につなげていく。
- 全体主義国家にしてはいけない。
- 詳しく学ぶこと、そして伝えること。選挙に行くこと。情報の正当性を自分で調べること。
- 政府発表だからと言って全て鵜呑みにせず、それが正しい情報なのか、負の側面もあるのではないかと疑う目をもち。
- 戦争をしてはいけないという当たり前のことをしっかりと理解しきつなをしないことを心がける。
- 戦争によってどんな被害を受けたとかどんなことがあったとか聞いてそれを忘れないで戦争はダメということを下の世代にも伝える。
- 優しい子を育てる。
- 他の国の土地をほしがない。
- 沖縄戦を風化させないために今、沖縄戦を学ぶきっかけがある私たちの世代が学んでいく必要があると思いました。
- まずは沖縄戦について学ぶこと。そして戦争を起こさないように今の政治に関心を向け選挙に行き自分の考えを起すことが大切だと考えます。
- 政治や世の中に関心を持ち戦争に批判的になってしっかり選挙に行き投票すること。
- 平和は何であるか戦前の状況と似ていることはないか考える。
- ニュースや新聞など、すべての情報を鵜呑みにしない。国の為ではなく自分の身を守るために考える。
- 法律が変わるようなことがあれば、しっかり調べて選挙に行く。平和になるように1人1人に意識を上げる。
- 戦争はいつ起こるか分からない。次の世代に伝えていく。また、自分たちも改めて戦争への理解をより深めていくことをする。

## 12/20ワークショップ@真和志高校

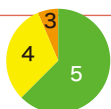
### 1. 今回のワークショップについて、あてはまるものを選んでください。

- 5: とても良かった…………… 11人
- 4: 良かった…………… 4人
- 3: どちらでもない…………… 1人



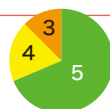
### 2. 講師の説明については、いかがでしたか？

- 5: とてもわかりやすかった…………… 10人
- 4: わかりやすかった…………… 5人
- 3: どちらでもない…………… 1人



### 3. ワークショップの進め方については、いかがでしたか？

- 5: とても良かった…………… 11人
- 4: 良かった…………… 3人
- 3: どちらでもない…………… 2人

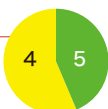


### 4. 講師やメッセージ、クラスメイトの発言で印象に残っているものはありますか？

- 有名人とかが情報を発すると誰もが確かにみるなど印象に残った。
- 自分たちが平和のためにやってきていることは本当に平和のためなのかについて考えられた。
- 戦後、戦前というのが印象になった。
- にっきーさんの、最後の「この情報が本当かはわからない」と言ったときに、情報カードだけで、確かに本当なのかはわからないし、嘘かもしれないと思いました。
- 講師の平和についての学習で言いなりにならないというのがよかった。
- みんなに伝える(分かりやすく)ためにはどう伝えればいいか考えたりするのは難しかった。
- 戦後か戦前。
- 戦争の有無は人の考え方。

### 5. ワークショップを通して、平和への理解が深まりましたか？

- 5: とても深まった…………… 7人
- 4: 深まった…………… 9人



### 6. ワークショップを受講する前と後では、あなた自身の平和に対する考えに、変化はありましたか？

- 5: とても変化があった…………… 4人
- 4: 変化があった…………… 6人
- 3: どちらでもない…………… 5人
- 2: あまり変化はなかった…………… 1人
- 何人もの人達が戦争で亡くなるというのがわかったから、学んで行動できるようにしようと思った。
- 本当に大事にしたいことを考えていきたい。
- 元から平和のそんでいたので変わらなかった。
- 特に変わりはありませんが、ただやっぱり平和の方が良いし、戦争にはなってほしくはないと思う。
- 平和について深く考える。
- 命がもたない。
- 普段学べることではない戦争の悲惨さなどについて改めて考えさせられたため。
- 平和とは？という観点から入らないと答えは導き出せない。
- ちゃんと考えたことがあまりないから。
- 平和につながることを考えなきゃいけない。



### 7. あなたの周り(学校や家庭)、社会が平和であるために、あなたは今後何かしたいと思いますか？

- 5: 強く思う…………… 3人
- 4: 思う…………… 4人
- 3: どちらでもない…………… 8人
- 2: 思わない…………… 1人
- 選挙には行こうと思った。
- 誰か聞いてきたらこのことを話したい。
- やさしくなる。
- 選挙の時は、何でもいいではなく、真剣に人を選んでみようと思いました。
- 争わない。
- みんなで協力!
- 自分から波風を立てないようにする。
- 自分にできることは、平和を願うことです。
- 戦争がいやだから。
- 他人によくしたいです。
- まだ自分にできることがわからない。

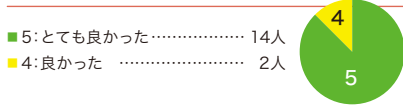


### 8. 今回のワークショップについて、質問・感想を自由にご記入ください

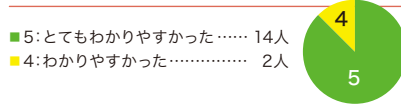
- 楽しく学ぶことができたのでよかったです。ありがとうございました。
- 戦争と平和について考えることができた。
- ありがとうございました。
- 今までは、沖縄の戦争とかどうでもいいと思っていましたが、とても分かりやすい説明で短いので頭に入ってきやすかったです!ありがとうございました。
- 面白かった。
- 色々勉強になった。
- 貴重な体験をさせてくれてありがとうございました。
- 沖縄戦について知らないことが多かったけど、今日話をきいて新たに分かったこともあった。
- 戦争はもちろん私たちにとっても、軍にとっても苦いことなんじゃないかと考えました。私だけではなく、みんなにも広まってほしいなと思いました。
- ありがとうございました。
- 平和を長くつなげるためには何を考えたらいいですか？

## 12/22ワークショップ@陽明高校

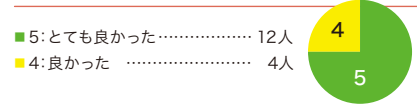
### 1. 今回のワークショップについて、あてはまるものを選んでください。



### 2. 講師の説明については、いかがでしたか？



### 3. ワークショップの進め方については、いかがでしたか？



### 4. 講師やメッセンジャー、クラスメイトの発言で印象に残っているものはありますか？

- 今でも原子爆弾を持つる国がある。
- 抑止力の強化、たごつばば。
- 戦後××年から戦前××年になるかもしれない
- 自分たちの立場だけでなく相手の見方を考える必要があるという内容。
- 内と外を交えるだけでみかたがかわりどってが正しいかわからなくなる。
- 抑止力を高めることは、戦争に近づいている。
- 自分たちが望んでいなくても私たちが求めた人たちがやるといった戦争は始まってしまうこと。
- 死者の数だけが犠牲者ではない。
- お互いに守りあうことで、戦争が生まれる。
- 講師からのアドバイスがわかりやすかった。

### 5. ワークショップを通して、平和への理解が深まりましたか？



### 6. ワークショップを受講する前と後では、あなた自身の平和に対する考えに、変化はありましたか？

- 5: とても変化があった…………… 6人  
 ■ 4: 変化があった…………… 8人  
 ■ 3: どちらでもない…………… 1人  
 ■ 2: 変化はなかった…………… 1人
- 
- 知らないことがたくさんあって、もっと知りたいと思った。
  - 戦争が起こってない今平和。
  - 向こうが武器を持っているからと言って自分も持っていとは限らない。
  - これまでも平和学習はしてきたが、より詳しく沖縄戦について知れたから。
  - 平和は、暴力や、一時的でしかない抑止力を置いたとしてもそれは嘘の平和でしかなく原因の解決につながるわけではないと思っているから。
  - 平和を維持するために、兵器をもつのは正しいと思っていたけど実は、それが戦争に向かっていて、でも何もしないで交渉できるのかなという疑問があった。
  - 悲惨さがもっと詳しくすることができたから。
  - ちゃんと投票しにいこうと考えた。
  - 小学生の時に平和に対する話を聞いていたけど、覚えていないこともあったので高校で改めて考えが深まりました。
  - 守ってくれる組織があったとしてもその周辺の地域は犠牲になる。
  - 戦死した人数が多いだけでなく、どういった状況だったのか考える必要があった。
  - 攻撃されないように守りに入ることもまた、戦争につながることを知った。

### 7. あなたの周り(学校や家庭)、社会が平和であるために、あなたは今後何かしたいと思いますか？

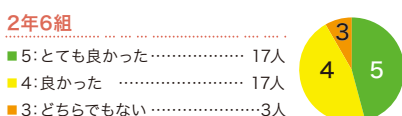
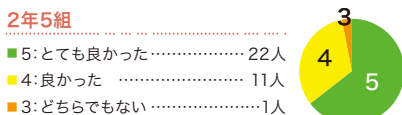
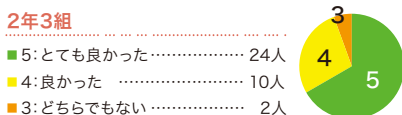
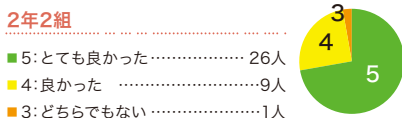
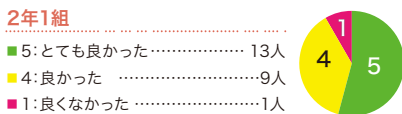
- 5: 強く思う…………… 5人  
 ■ 4: 思う…………… 8人  
 ■ 3: どちらでもない…………… 1人  
 ■ 2: あまり思わない…………… 1人
- 
- 戦争についての日をもっと理解してもらえるように工夫する。
  - 平和が1番だから、できることはやりたい。
  - 選挙の参加を考えるようになった。
  - 身近な沖縄戦の講話を聞いて、継承していきたいと思ったから。
  - 平和は自分一人の考えだけではなく他の意見も考えないといけないと思う。行動することは確かに大切だが、他に無理に強要するべきではないと考えるから。誰か悩んでる人の解決法を一緒に考えたり、支えになれるような人物になりたい。
  - 中国、ロシア、朝鮮、いろいろな国に囲まれていて、一歩間違えたら今日のようなシナリオになってしまうから。
  - 二度と戦争をおこしたくないと思ったから。
  - 戦争がいつ起きてもおかしくないことを家族に伝えたりしようと思いました。
  - 教育がとても大切と感じた。
  - 平和こそ正義。
  - 若者が選挙に関心なのは社会に影響があるので参加したい。
  - 平和であってほしいから。
  - 何したらいいかわからない。

### 8. 今回のワークショップについて、質問・感想を自由にご記入ください

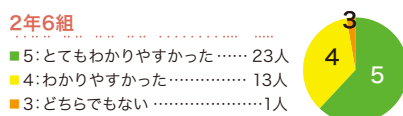
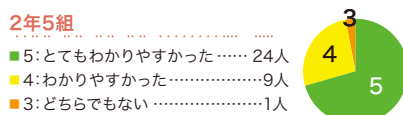
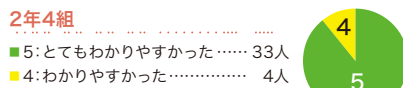
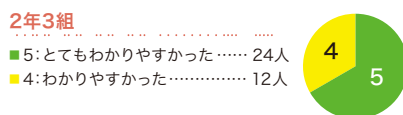
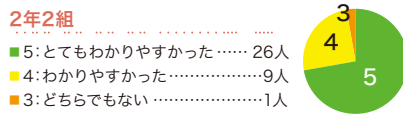
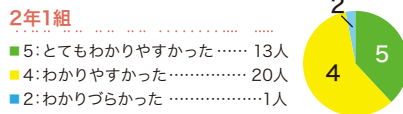
- 沖縄戦だけではなく戦争の恐ろしさを改めて深く知ることができた。
- 沖縄戦について知らないことが多くあった。
- 情報の正しいものを見分けることも大切だと知った。
- 沖縄戦体験者の話を読んで生き残っているだけでも辛いということが分かった。アクティビティーで抑止力を選んだが、沖縄戦もこうやって始まったということが分かった。
- 最後に皆で抑止力を持つことになったのだが、もし交渉であったらどうなっていたのかが気になる。
- 自分が思っているより「平和」と「戦争」は近くてなんでこうなったかならないようにするにはどうするかを考えてみようと思った。
- 沖縄戦について、知らなかったことも知れてもっと学ぶべきだと思った。
- 私たちのちょっとした判断ですべて決まってしまうことが怖いと思いました。
- 戦争は、人が人でなくなるぐらい心身共に狂ってくると思いました。
- 今までとは、違った視点からの物事を考えさせられたのでこれからも、その部分を生かしてもっと深く考えていきたいです。
- 平和とは何か少し深く知ることが出来ました。
- 今回のワークショップを通して平和への理解が深まりました。
- こゆ話が聞けて良かったです。今後も絶対戦争がおこらないでほしいです。

## 1/19ワークショップ@調布北高校

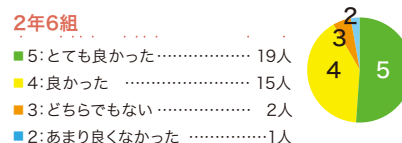
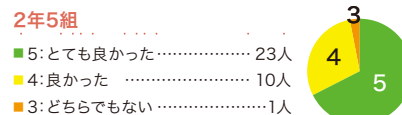
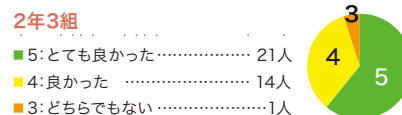
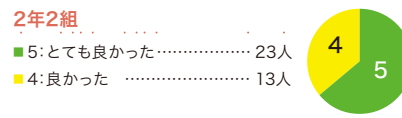
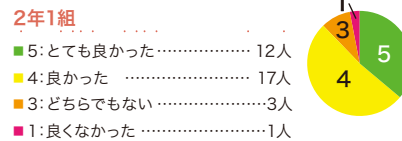
### 1. 今回のワークショップについて、あてはまるものを選んでください。



### 2. 講師の説明については、いかがでしたか？



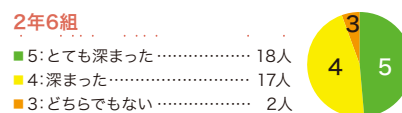
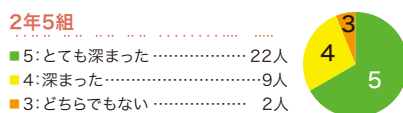
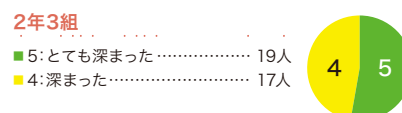
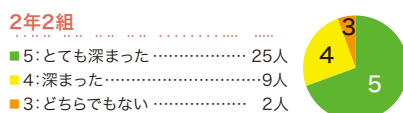
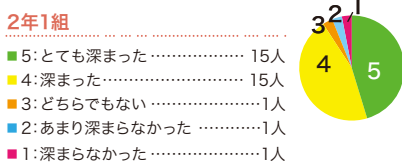
### 3. ワークショップの進め方については、いかがでしたか？



### 4. 講師やメッセンジャー、クラスメイトの発言で印象に残っているものはありますか？

- 「平和はひとりひとりのしじの中から、ほんの少しの行動から」
- “今は本当に戦後なのか、もしかしたら戦前かもしれない”という言葉が印象に残りました。戦争をなくすためにできることを考えていきたいです。
- 戦争は人が人でなくなること。
- 沖繩戦の中、生き残る為にとった手段なのに、その後結局助からなかったという話は聞いていつらかった。(印象に残った)
- 今年が、次の戦争の何年前かもしれないこと。気にしたことなかったです。起きない! と思っているけど、いざ意識すると、絶対に起きないと言い切れないのが怖いです。
- 戦争によって亡くなった人々がひとくりにされがちだけど、一人ひとりが体験したことは全く違う。もし生き残っても、幸せに生きることはできない。
- 2023年は戦後77年にも戦前1年にもなること。
- 実体験の中で「昨日動いていた人が今日はなくなってしまった。」という記述が非常に衝撃でした。
- “たこつぼ作戦”が残酷でとても悲しかった。人を兵器としてしか思っていないことが悲しいです。
- “生きたい”と思わなくなっていた。“生きていいんだ”と思えた。
- 戦争をする気にさせたいとき、Youtuberが宣伝するという意見。
- 今が戦争77年じゃなくて戦前何年かもしれないということ。
- 戦争をなくすために、「戦争を作る」ことを考えることが逆転の発想で驚いた。
- やっぱりフェイクニュースは手取り早く戦争を正当化できるんだと思った。沖繩戦のマップ、全日時あってました。
- 「戦争が始まって一番最初に人権がない」と戦争中の国の人々が言っていたときとても驚いた。
- 戦争で生き残った人もPTSDになって苦しんでいること。
- ロールプレイングどれ選んでもOUTはきついです。
- 読谷からどこに逃げるかという話題の際、重い話なのに皆が笑っていたのが印象的でした。講師の方の話方がうまいのと我々の世代による感覚とでも少し違和感でした。
- 戦争で亡くなった方の中には攻撃されただけじゃなく、自決したり、日本軍に殺されたりしたことが印象に残った。
- 助かるために動いたが、何をしても助からなかったのか沖繩戦。
- 「何人が死んだ」という情報のほかにたくさんの人の様々な実際の物事が隠れていると分かったこと。
- たこつぼ作戦で自分が死んでしまうのに、戦車を止めたり時間稼ぎのために多くの人が自爆したのがすごく怖いと思ったし、今そんな状況じゃなくてよかったと思った。
- 自分が安全だと思った避難でさえ、命の危険にさらされるという戦争の「恐怖」。

### 5. ワークショップを通して、平和への理解が深まりましたか？



6.ワークショップを受講する前と後では、あなた自身の平和に対する考えに、変化はありましたか？

2年1組

- 5:とても変化があった .....7人
- 4:変化があった ..... 19人
- 3:どちらでもない .....5人
- 2:あまり変化はなかった ..... 2人
- 1:変化はなかった .....1人



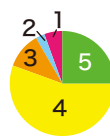
2年2組

- 5:とても変化があった .....9人
- 4:変化があった ..... 16人
- 3:どちらでもない .....4人
- 2:あまり変化はなかった .....4人
- 1:変化はなかった ..... 2人



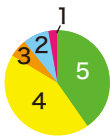
2年3組

- 5:とても変化があった .....9人
- 4:変化があった ..... 20人
- 3:どちらでもない .....4人
- 2:あまり変化はなかった .....1人
- 1:変化はなかった ..... 2人



2年4組

- 5:とても変化があった ..... 15人
- 4:変化があった ..... 16人
- 3:どちらでもない ..... 2人
- 2:あまり変化はなかった .....3人
- 1:変化はなかった .....1人



2年5組

- 5:とても変化があった ..... 10人
- 4:変化があった ..... 16人
- 3:どちらでもない .....5人
- 2:あまり変化はなかった ..... 2人
- 1:変化はなかった .....1人



2年6組

- 5:とても変化があった .....9人
- 4:変化があった ..... 19人
- 3:どちらでもない .....8人
- 2:あまり変化はなかった .....1人



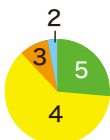
- 戦争が終わり、平和を感じる今でも過去の経験が辛いものとして残っている人がいると知ったから。
- 平和ではない世界が身近なところにあることを感じたからです。
- 戦争って戦いあっている人以外にも色々な理由で苦しんだりなくなると聞いて、改めて怖いと思った。
- 死なないための選択が逆に死を呼ぶかもと知って、恐怖を感じた。
- 平和を維持するために自分は何かができるか考える良い機会だったから。
- 割とかんたんに平和は崩せる。
- 平和は自分たちでつくりあげられるのだと認識できた。
- 集団自決の話はつらいなと思った。すぐ近くの場所でも入った場所によって運命が変わっていたかと思うと悲しくなった。
- 正しいと思われていることが必ずしも平和であるとは言えないと思ったから。
- 元々平和に対する考えは強く意識していたけど意志が強くなった。
- 自分にとって今、平和は当たり前だけど、壊れるときはあつという間に壊れてしまう気がした。
- あまり実感がわかない。
- 沖縄戦のことを全然知らなかったのですが、住民の人の声をきいたり、具体的な戦略、風景で戦うことが当たり前だったことを知り、「平和とは何か」改めて考え直すきっかけになりました。

- ただ「平和であってほしい」という考えから「何とかして平和を維持したい」という気持ちになりました。
- 日本国民お互いに信頼試合、協力していたのかと思っていたが、互いに殺しあっていたという事実が驚いた。当時の人々にとっての「平和」とはなんだっただろうか。わからなくなりました。
- 受講前は戦争はダメだという思いが漠然としたものだったが、実際の話を聞いてどれだけ恐ろしいのか悲しいことなのか理解したから。
- 今まで日本って平和だなんて思っていたけど平和ではなかった時代があつてこそ今の日本があると気づかされたから。
- かつてひめゆりの塔へ行ったことがあり、悲惨さを知っていたから。
- 今が戦前にならないようにするために平和について知ることの大切さを知りました。
- 沖縄に行ったら平和という視点で観光しようと思ったから。
- 戦争はそこに住んでいる人まで巻き込んでしまい、全国民が危険にさらされるようなことがあってはいけないと思いました。
- 「自分があの時いたらどうだったか。」という想像でより戦争の怖さをしたから。
- 沖縄戦についてはある程度知っていたが、戦争になる兆しが見えにくいということを改めて感じた。

7.あなたの周り(学校や家庭)、社会が平和であるために、あなたは今後何かしたいと思いますか？

2年1組

- 5:強く思う .....9人
- 4:思う ..... 21人
- 3:どちらでもない .....3人
- 2:あまり思わない .....1人



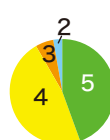
2年2組

- 5:強く思う ..... 14人
- 4:思う ..... 17人
- 3:どちらでもない .....3人
- 2:あまり思わない .....1人



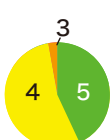
2年3組

- 5:強く思う ..... 16人
- 4:思う ..... 17人
- 3:どちらでもない ..... 2人
- 2:あまり思わない .....1人



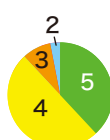
2年4組

- 5:強く思う ..... 16人
- 4:思う ..... 20人
- 3:どちらでもない .....1人



2年5組

- 5:強く思う ..... 13人
- 4:思う ..... 17人
- 3:どちらでもない .....3人
- 1:思わない .....1人



2年6組

- 5:強く思う ..... 10人
- 4:思う ..... 22人
- 3:どちらでもない .....4人
- 2:あまり思わない .....1人

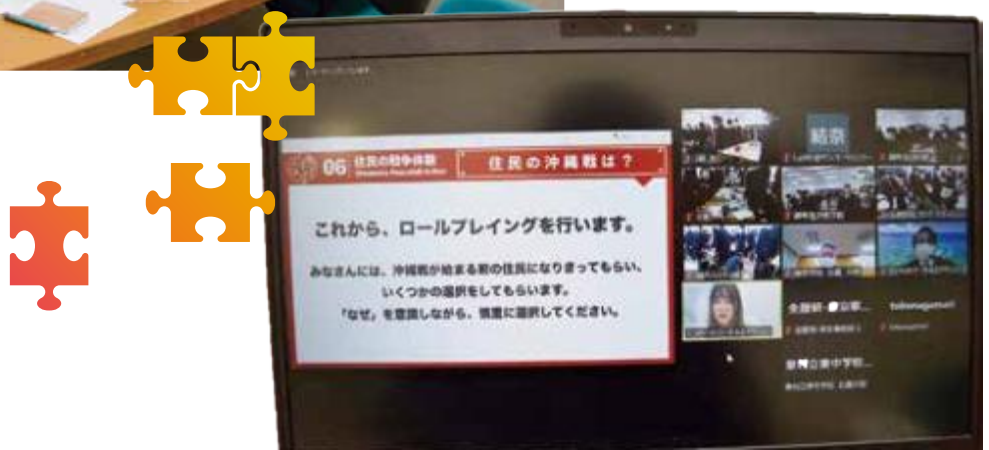


- 今普通に生活していることが有難いことだと感じたから。
- 大切な人とずっと一緒にいたいからです。
- 今日学んだことを身の回りの人に共有していきたい。
- 大切な人の為にも、何かできたいと思います。
- できるか出来ないかは別として貢献してみたいと思ったから。
- 平和のための活動が誰かが平和を奪う可能性もあると思うから。
- 人に優しくなる。悲しむ人、命を失う人がいなくなしてほしいから。
- 選挙の投票に行くようにしてより良い国の為のリーダーを真剣に選びたい。
- 他社の気持ちを考えて行動。自分が人に与える影響をよく考える。情報は一瞬で拡散され人々の目に留まるから。
- 今日話を聞いて戦争は怖いと思ったし、これからの社会を任すのは私だから。
- 選挙へ行く。
- 自分も今までは知らなかったから、自分のような知らない人に沖縄戦について話せたらいいと思った。
- メディア等の意見に流されず、最良の選択をしていけるように自ら学び、自らの意見をもちたい。
- 選挙に行かないと何も変わらないから。
- 一人一人が行動することでこれから先、戦争をしないう意識が続いていくと思うから
- できるだけ戦争などが起きてほしくないから。異文化理解などを特に行い、互いに尊重しあえるような世界にしたい。
- 自分の知っている人や大切な人まで疑い合うようになりたくないから。
- 国際理解を深めるなど。

- もっと政治(国)に興味を持ちたいと思ったから。沖縄だけじゃなくて、今までの戦争について知識を増やしたいと思ったから。
- 自分が「平和」だと思ふことと、相手の「平和」だと思ふことは違うからお互い理解しあいたい。
- 周りに知っている人の死体が転がっているような生活は絶対にいやだと思ったから。
- 何も悪いことをしていない人が殺されたり、家族を失ったりすることがあってはいけないと思った。
- 今後、テレビとかで戦争の番組をやっていたら積極的にみる。
- 平和に死にたいから。
- 海外に友達を作る。
- 投票権を得るから。
- 自分の中での良いことと悪いことの区別は曲げないようにする。
- 高校生が出来るのはありません。
- 「戦後」を「戦前」にしないように私たちが行動することが大切だと思ったから。
- 誰もしないうでほしいし、苦しんでほしくないから自分が出ることがあればやりたい。
- 自分の行動で平和が生まれるのであれば、できることはやりたいと思う。
- 周りや意見や価値観が異なっても最初から否定せずに受け入れてみるのが大切だと改めて感じたから。
- 個人でできることが少なくても大人数が強い意志を持てば世界は変わると思うから。
- 平和が大切なことだと思うけど自分一人の行動では世界は変わらないと思うから。
- 平和な世界が好きだから。しかし、何をすればよいのかは分からない。
- 出来ることが少ないため、自分はいろんな人と仲良くなり、文化を受け入れたりするだけ。

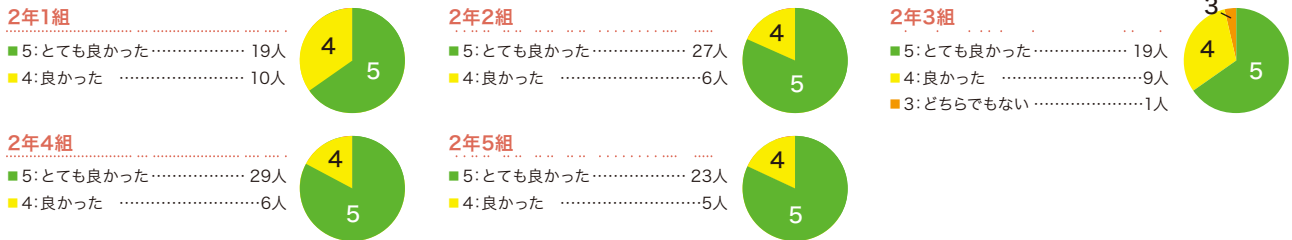
8. 今回のワークショップについて、質問・感想を自由にご記入ください

- RPG最初クラス2人以外みんな死んでびっくりした。
- 戦争の話が好きじゃなかったけど、しっかり知らないといけないと身に染みて感じました。
- ひめゆり学徒隊の方のお話をTVで聞いたことがあってなんとなくは知っていたけれど、なる前にも人がたくさんなくなっていたことに驚いた。
- とても分かりやすく、本当に詳しく戦争について学ぶことが出来ました。沖縄の旅行がより良い旅行になるようにしたいです。
- 沖縄戦について深く学ぶよききっかけとなりました。ありがとうございました。
- 沖縄に対する目が変わりました。そういう過去があったことを知れる機会を作ってくださいありがとうございました。
- この先の未来平和であってほしいと思った。
- これからも戦争を起こさない社会を続けていくために、私たちは沖縄戦にならって、理解して戦争が起こらないための努力をしていかなければならないと思いました。
- 戦争はただだけれど修学旅行でしみみした気持ちになりたくない。
- 戦前何年なのか今まで考えたことがなかったです。一番心に残りました。
- だんだん人が減っていくのがリアルだった。
- 身を以て戦争の恐ろしさを感じました。沖縄戦の選択をするやつで私はすぐに死んじゃったのですが、そこで生き残ってもまた次に選択があつてどこに行っても地獄だなと思いました。
- 沖縄戦について詳しく知ることが出来、悲惨な体験をした方が私たちに当時の体験などを発信してくださっているからこそ平和の大切さを感じられていると思濃い2時間になりました。
- 沖縄戦についてあまり詳しく知らなかったので知れてよかったです。住民の死者が一番多かったことから戦争の恐ろしさを知りました。
- 沖縄は唯一の地上戦があった場所で、傷がつかない記憶がある場所だからこそ、目をそむけずに修学旅行でも「なぜ？」と疑問をもって主体的に参加したいです。とても分かりやすかったです。ありがとうございました。
- 戦争の悲惨さ、平和について学び深めることができたので、実際に沖縄に行って自分の目で見て体験することより深めたい。
- 戦争は良くないということはわかっていてもどうしていけないのかどうかが起きてしまうのかを知らないことと止めることや戦争が良くないという考え方を維持することが出来ないことと分かり沖縄であったことがたくさん知れてよかったです。
- 本日はご講演ありがとうございました。ご講演の中で自分だったらどの選択肢を取るかというロールプレイングで結局誰も生き残ることが出来なかったのが特に印象に残りました。戦争は本当にいるなことをもたらすあつてはならないものだと思う。「家族で死ぬ、飢餓、兵士の自爆などそのためにも2つの考えは戦争の悲惨な出来事とともに受け継いでいくべきだと思う。
- これから先ずつと戦争がなく平和で人権がある守られている世界でいたい。
- 自分から調べようと思わなかった。実際に起きたことが知ることが出来た今回の体験は1つのきっかけとしてとても良いものになった。
- ただ観光地としていから沖縄になっただけでなく、「平和」など大切なことを学べるから修学旅行が沖縄になった気がした。
- 正直うまく言葉に表せません。戦争がどれほど恐ろしく人権も何もない行為なのかを感じました。改めて平和の尊さについて考えさせられました。これからのために平和を守り続けるべきだと思います。
- 戦争中の「死」の軽さを改めて感じられて怖いと思った。今は起こらないだろうと思っているが、いつの間にか戦争肯定側にならないようにしたい！
- 今日の戦争の作り方を考えて実際これが行われたら周りの人や自分が戦争に前向きになってしまったらどうしようとするようになった。
- とても詳しく沖縄戦について知れました。今の戦争に対する考え方と昔の戦争に対する考え方の違いがすごく心に重たかったです。
- 早速、沖縄戦の証言を調べてみました。想像がつかないような内容です…。
- 沖縄が大好きで、行ったこともあるのですが過去にここまでつらいことがあったと知り、悲しくなりました。私たちが将来何をすることができるのか考えることが大切だなと思いました。
- クラスの人が全員死んでしまって驚きました。
- 皆で話し合いながら、理解を深めていくことが出来て楽しかった。
- 説明がとても分かりやすく戦争や平和への理解がとても深まりました。最後に出された、今後どうすればいいのか考えるという課題を続けていきたいです。
- 戦争、平和について考えさせられた。自分の目で社会に何が起きているのかを考えながら行動していこうと思った。
- 米軍が上陸する前に半数の人が死んでいてビックリしました。
- 戦争が平和についてだけでなく、何においても自分から行動、1人1人が動いていくことが大切だと思った。グループワークで体験型の授業が楽しかった。
- どの選択をしても生き残ることが難しいのが沖縄戦の特徴がある。
- 沖縄戦についてとても理解が深まった。
- 米軍基地ってどんな感じなんですか？
- 戦争の悲惨さと共に大切さを知れたから。
- 道徳、英語等を学べる今はすごく平和ののだなと実感できた。
- 沖縄戦のことにだけでなく他で起こった起きている戦争についても調べてみたいと思った。
- 悲惨な話だけれど、事実なのでしっかり受け止めようと思った。とてもためになりました。
- 沖縄県に行って戦争跡を見てみたいと思った。
- 戦争がいけないことだということを再び認識することが出来たし、沖縄の地上戦のことはもともと知っていたけれど1つ1つの戦いはどのようなことがあったのか細かいことは知らなかったのて今日知れてよかったです。
- 自分が過去の選択で「あの時、～していれば」と後悔するのはなくどの選択を選んでも本当に自分が思い描いていたものになるかは分からないので、後ろばかり見ずに自分の決めた道信じて頑張りたいです。
- 自分の選択で生死が分かれるということの怖さがゲームを通してよく分かりました。平和な今を続けられるように考えていくことが必要だなと思いました。
- 戦争で巻き込まれて亡くなった方の中には日本軍に殺されてしまった人もたくさんいたことに驚きました。情報統制などによるコントロールはすごく怖いと思います。
- 「戦争」や「平和」という単語の中にたくさん記録や事件、思いが含まれているのだなとも思った。すごく興味深い内容の話だった。
- 人の死を悲しむことが出来る時代に生まれてよかったです。
- 戦争といえば、広島と長崎というイメージがあったが、沖縄の戦争も知ることができ、認識が変わりました。
- 沖縄の歴史について知れてよかったです。
- どこへに逃げても生きられない運命が悲しい。戦地であったことは知っていたが、まだまだ知らないんだと自覚したし、もっと知らなきゃいけないと改めて思った。過去に2回行ったがどこも観光地ばかりを巡っていたので修学旅行の際に戦跡や資料館に行くことが出来ることを楽しみにしている。

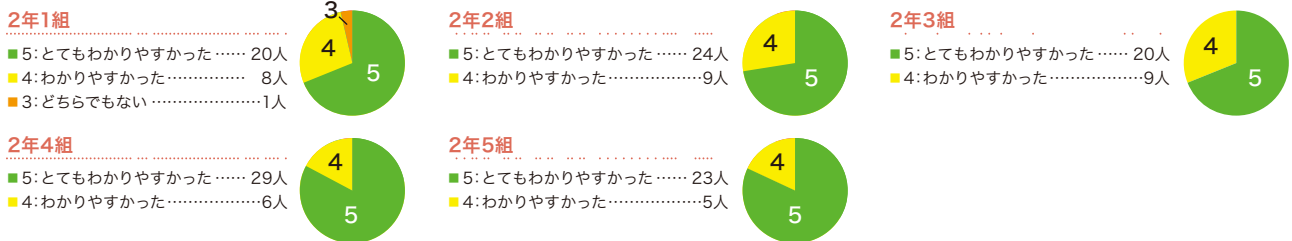


# 1/20ワークショップ@横浜市立南中学校

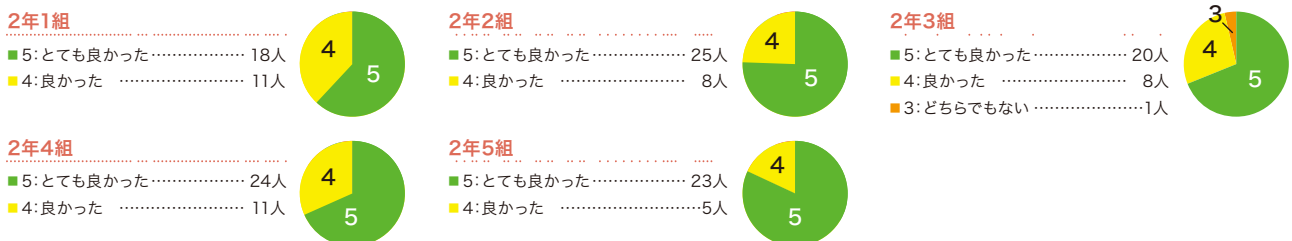
## 1. 今回のワークショップについて、あてはまるものを選んでください。



## 2. 講師の説明については、いかがでしたか？



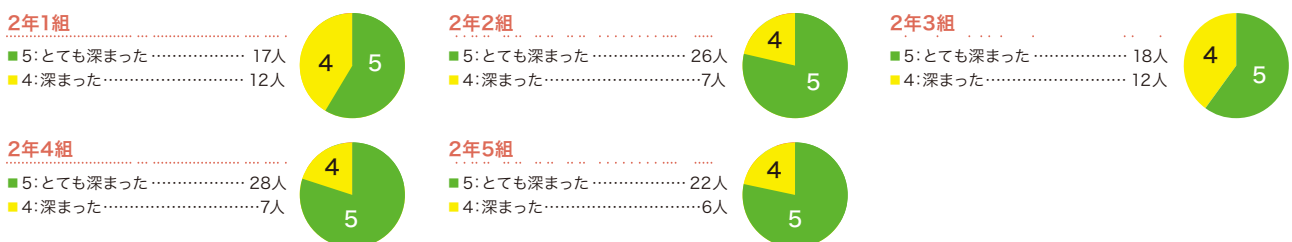
## 3. ワークショップの進め方については、いかがでしたか？



## 4. 講師やクラスメイト等参加者の発言で印象に残っているものはありますか？

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 講師の方が言っていた、「本当は沖縄戦のことについて語りたくない」という気持ちがあるということが印象に残りました。</li> <li>■ たこつぼ作戦での戦車が来たらたこつぼに潜り込み爆弾を抱えて、爆発する作戦があったという発言が印象に残りました。</li> <li>■ 鉄の暴風。</li> <li>■ 1人1人におきた戦争なんだとあっていてところが印象に残りました。それぞれの人に物語があったのだからと思ってとても他人事には感じられませんでした。</li> <li>■ 沖縄戦が起こってから2022年は戦後77年だが、2023年は戦争が起こったら、2022年は戦前1年になる。</li> <li>■ 戦争の被害者の方が話してくれたからこの学習ができるということが印象に残りました。</li> <li>■ 実際にこんなことがほんとに起きたということ。もしかしたら、今が戦前1年かもしれない。</li> <li>■ 沖縄戦のことを学べるのは、それに苦しんだ人たちがいるということが印象に残っています。</li> <li>■ 話してくれている方は本当は思い出たくない。言いたくないことを話している。</li> <li>■ 今、ゲーム感覚で楽しくやっただけ、実際はそんなじゃない一気にも座ったけど生き残った人もいる。</li> <li>■ 初めて知ることがたくさんあってほとんどのことが印象に残っていますが、沖縄が時間稼ぎという説明が最も残っています。</li> <li>■ 戦争をやめさせるのではなく、逆に自分たちで戦争がいいと思わせる世界を作ることが印象に残っている。逆に戦争の残酷さがよく分かった。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 戦争を起こすためにはどうするかみたいなやつでみんなの意見を聞いていて凄いい発想がいっぱい出てきて面白かった。</li> <li>■ 男子は体育、女子は家庭科ってやつです。</li> <li>■ 戦争で体験した人たちがこの話をしたくなかったけど話してくれたこと。</li> <li>■ 遊びのようにやっていたが現実なんです。という言葉。</li> <li>■ 沖縄では自分できなくなってしまったり、日本兵に殺されてしまったことも含めて沖縄に住んでいた人の1/4の人口の人がなくなりました。</li> <li>■ なぜこの戦争のことを教えてくれたのか。その人の気持ちを考える。</li> <li>■ 沖縄戦で20万人くらいの方が亡くなったことが印象に残りました。</li> <li>■ 沖縄戦でなくなった200656人中、住民が94000人もなくなっている。</li> <li>■ 2022年が戦後77年ではなく戦前1年になるかもしれないという事。</li> <li>■ 平和は1人1人の小さな積み重ね、行動からなっている。という講師の先生の言葉が印象に残っています。</li> <li>■ ロールプレイの時に、疎開するための船が沈没した時の犠牲者の人数を見て、今だったら大ニュースなのに、これが当たり前だったと考えると、怖いと思ったからです。</li> <li>■ 沖縄戦で実際あったことがどのようなのなのかを詳しく自分たちが経験しているように話して下さったのでしっかり考えることができました。</li> <li>■ 兵士よりも住民の方が多くなっていたことが印象にある。</li> <li>■ 戦争は食べ物がないで死んじゃう人もいるんだなー。</li> </ul> |
|---|--|

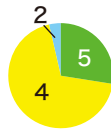
## 5. ワークショップを通して、平和への理解が深まりましたか？



6.ワークショップを受講する前と後では、あなた自身の平和に対する考えに、変化はありましたか？

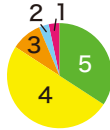
2年1組

- 5:とても変化があった .....8人
- 4:変化があった ..... 20人
- 2:あまり変化はなかった .....1人



2年2組

- 5:とても変化があった ..... 11人
- 4:変化があった ..... 16人
- 3:どちらでもない .....3人
- 2:あまり変化はなかった .....1人
- 1:変化はなかった .....1人



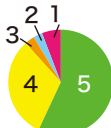
2年3組

- 5:とても変化があった ..... 12人
- 4:変化があった ..... 12人
- 3:どちらでもない ..... 2人
- 2:あまり変化はなかった .....4人



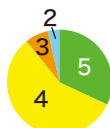
2年4組

- 5:とても変化があった ..... 20人
- 4:変化があった ..... 11人
- 3:どちらでもない .....1人
- 2:あまり変化はなかった .....1人
- 1:変化はなかった ..... 2人



2年5組

- 5:とても変化があった .....9人
- 4:変化があった ..... 16人
- 3:どちらでもない ..... 2人
- 1:変化はなかった .....1人

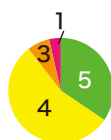


- 戦争という一括りではなく戦争の中でいろんな事件が起きていたことが分かって深く考えられるようになった。
- ここまで沖縄戦のことを深く思ったことがなかったからです。本土での戦争に向けての準備だったということは知っていましたが、その間での米軍の動きなど細かいところを知れたので、いろんな立場に立って考えられたので変化できたと思います。
- 今までは戦争はいけないことという認識で「～があった。」という感じでしたが、「～があった」といってもその裏では様々なことがあったことを知り、深く学ぶことが出来たからです。
- 話を聞く前はあまり沖縄の戦争について興味はなかったんですが、話を聞いて戦争について興味を持つことが出来ました。
- 生きるか死ぬかの選択は本当にあったんだ。と思うと、あまりにも悲惨だったから。
- 前まで戦争を起こす側の立場について考えたことはなかったからです。
- 今まで戦争はダメだと思ってはいたけど、それがなぜダメなのか。それをあまり考えたことがなかったので今回は良い機会になったと思いました。
- 戦争でなくなった方やつらい思いをした方がとてもたくさんいることを改めて実感しこれからは戦争などはない社会であってほしいと強く思いました。
- もともとある程度は知っていたけど、想像以上に亡くなっている人がいて驚いたから。
- 戦争で生き残った人、死んでしまったりした人がいると考えると、今生まれてこれ良かったと思えたから。
- 私たちは日常に感謝することがあまりないけど今回で今はとても幸せな日常を遅れているんだなと感謝しているから。
- ゲーム感覚で学んだけどリアルであった話だと思うと平和がいいと思った。
- 今は平和が当たり前だと思ってしまうくらい平和で戦争なんか深く考えることはなかったから。
- 平和に関して何が平和と呼べるのか曖昧だったが、そこに正解はなくもっと深いもの何度かと思った。
- 前から戦争や平和について考えることはあった。今回を含めてもっと考えが深まった。
- 戦争はダメなこと考えるのがふつうだと思ってたから良いと考える人がいたことが驚き。
- もともと戦争はダメなものだと思っていたから。
- 平和とは何か考えたとき、いつもは考えることのない自分たちが戦争を作るとしたらという視点から考えることをしたから。
- ただ漠然とした平和という言葉は今まで使ってきたけど、戦争の辛さについて学んで、平和でいられることの大切さや言葉の重みを実感しました。
- 戦争によってたくさんの方が亡くなり悲しんだ人がいることを知っていて、沖縄のガマの話も知っていて、今回のワークショップでそれを深く知れたから。
- 私はこのワークショップを受ける前に沖縄に行ったことがあります。そこではひめゆりの所に行っておくさん戦争について学んで戦争についての考えが変わったけど、今日話を聞いてもっと変化がありました。

7.あなたの周り(学校や家庭)、社会が平和であるために、あなたは今後何かしたいと思いますか？

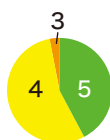
2年1組

- 5:強く思う ..... 10人
- 4:思う ..... 16人
- 3:どちらでもない ..... 2人
- 1:思わない .....1人



2年2組

- 5:強く思う ..... 14人
- 4:思う ..... 18人
- 3:どちらでもない .....1人



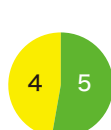
2年3組

- 5:強く思う ..... 16人
- 4:思う ..... 12人
- 3:どちらでもない ..... 2人



2年4組

- 5:強く思う ..... 18人
- 4:思う ..... 16人



2年5組

- 5:強く思う ..... 11人
- 4:思う ..... 13人
- 3:どちらでもない .....4人



- 沖縄戦を思い出したくないのに思い出してくれる人たちがいるから、それをいろいろの方に広げて戦争はいけないと教えてあげたいです。
- 1人では何も変わらない。
- 今日、家族にもこの話を話して、沖縄の戦争について深く頭に入れてたいです。今日の内容を沖縄に行くときに思い出したいです。
- 戦争が起きたりしてみんなが絶望する姿を見たくないと思えたからです。
- 戦争が2度と起こらないようにしたい。
- 今はあまりできることはないけど、戦争は何かがあってもそれを理由に起こしてはいけないから悪い方向に持っていかないようにしたい。
- 証言してくれた人の思いを残したいから。
- 自分がまず何かをしなければ何も起こらないと思ったからです。
- 出来ることからよめるのかいいと思うけど何をしたらいいのか分からないから。
- 相手の気持ちを考えた行動をとって自分も相手も傷つけないようにしたいと思いました。また、戦争や戦争に繋がることは絶対にしないようにしようと思えました。
- 今が戦前になるかもしれないという所で学んで、戦争は絶対にしたくないです。
- 私たち中学生はあと少しで義務教育がおわるし、これからの日本がどうなるのかは若い世代にかかってきていると思うから。
- 戦争がどのくらい悪いことかとかを他の人に伝えていけたいと思います。
- 学んだことを伝えていきたい。
- 皆が相手のことを考えることが大切だと思ったので、まずは自分が人のことをしっかり考えたと思いました。
- 1人1人の戦争という言葉から他人事ではないと思ったからです。
- するべきだと思うけど自分がどうにかできると思えない。
- 私たち国民の1人1人が何かをしなければまた戦争がおこってしまうかもしれないから。
- いじめ・差別がないようにまたそれを無くす活動をしていきたいです。
- 自分でもできることをやりたい。
- 皆が平和に暮らせるように1人1人の個性を認め合ったりできるような感じにしていきたい。
- 人の個性を認められるようにしたい。
- 他人事として考えずに、少しでも行動してみることで平和への道だと分かったからです。
- お互いを理解いあえる社会になるために学生の中でも差別や偏見をしてはいけないと思ったから。
- この前戦争について学んでまだ世界中には戦争がある国がたくさんあることを知りました。なので少しでも力になるために募金をしたりして力になりたいなと思います。
- まずは偏見や差別を自分がしないで戦争起こるきっかけを少しでも減らしたい。
- ひとりひとりの行動が大切なら、私も何かできるのではないかと考えたからです。
- 友達や家族とのケンカが比にならないほど大きな戦争を絶対にはだめだと思います。大切なものが一瞬で消えてしまっって人が人でなくならないように1人じゃ変わらないと思わないでまずは身近な平和について考えたいです。
- 僕の力ではちょっと無理だと思う。
- 平和は大切だと改めて感じさせられてずっとこの平和を維持していくために皆で戦争のことや沖縄戦の悲惨さを後の世代に伝えていかなきゃならないんだと思った。

## 8. 今回のワークショップについて、質問・感想を自由にご記入ください

- 自分たちは修学旅行で沖縄に行くので事前に沖縄について知っておくと沖縄へ行ってから、楽しむだけでなく戦争について考えを深めたりできるのでよかったです。
- いつも戦争の話聞くよりも自分だったら考えることが多くあり、それが沖縄以外にもあったと思うと、とても悲しくなりました。これからは慎重に考えていこうと思いました。
- 戦争の映画はたくさん見ましたが、それでもまだ知らないことがたくさんあるのでもっとたくさん知りたいです。
- ただ戦争してそれに巻き込まれて死んだだけかとおもったけど、自決や裏切り者にされて殺されるなど知らなかった死因を知れて勉強になりました。
- ロールプレイで結局全員死ぬのは悲しかった。
- 沖縄に大変なことがあったんだということが分かった。
- 今回のワークショップを通してより戦争や平和について関心を持ってたのでよかったです。
- 今回のお話を聞いて沖縄戦についてと戦争の悲しさや平和の大切さを深く理解できました。ありがとうございました。
- 戦争のことを知れてよかったです。社会の授業で太平洋戦争とか知っていたけど沖縄戦のことについて知れました。
- 戦争のことは学んだことがあっても、沖縄の地上戦のことはあまり知らなかったので分かりやすく説明が聞いて良かったです。
- ゲームみたいなのかすごく面白かったし、当時の大変さが伝わりました。ありがとうございました。
- 戦争を起こしてくださいとか、今までとは違い新しい平和学習の仕方でも分かりやすかったです。
- クイズやロールプレイなど楽しくもあり、戦争について学べるものと考えてくださりありがとうございました。
- 沖縄でしっかり学びたいと思った。
- 平和の素晴らしさと戦争の怖さがとても分かりました。今戦争のないこの日本に生まれてこれて良かったと思っています。沖縄に行くときその気持ちを忘れずに学習しに行きたいです。
- 今回はつらい部分が多かったのが楽し感じのも知りたかったです。
- 戦争はやっぱり苦しいしつらいと思う。だから戦争は本当にはいけないと思う。戦争を経験した人たちの思いをこれからも受け継いで伝えていきたいなと思った。
- 最初の男の人の説明で画面に映る文字が多くて分かりづらかった。
- 自衛隊を批判的人もいるがそれは良くないなとかんじた。77年前の悲劇はもうおこしてはほけないと感じた。
- 沖縄戦に対してワークショップをやってくれるまで知らないことだらけでしたけど、今回知ることができてとてもためになりました。分かりやすく説明してくれてありがとうございます。楽しかったです。
- 戦争の作り方など考えたこともなかったことを考えたりしてなぜ戦争が起こるのかということや学べました。とても分かりやすく教えてくださり、ありがとうございました。沖縄に行ったらもっと学びたいと思います。
- 経験者の方たちのおかげで、私たちが今こうして学ぶことが出来るということを知れて考え方も改めることが出来ました。話す方も心地いいものではないと思うので、とても有難い経験になってよかったです。
- 戦争についてどこか他人事か思っていたけれど、自分ももしかしたらその年に生まれていた可能性も考えたら他人事でもないと思えば戦争に対する恐怖が強まりよくないことだと思いました。
- 沖縄に行った時今回教えていただいたことがないより理解を深めることはできなと思ったので沖縄に行ったら真剣に平和学習をしたいと思いました。
- 平和学習と聞くと少し難しいイメージがあったけど、とても分かりやすく、自分でも色々考えることができました。
- 今まで、授業で戦争等について行ってきましたが、今回のワークショップで知らなかったことがたくさん知れたのが良かったです。
- 今回のワークショップで戦争の怖さが改めてわかりました。これから世界で戦争が0になるように活動したいなと思いました。
- 沖縄は何年かけて復興したんでしょうか？また、なぜ沖縄の人々は自爆をしたんでしょうか？
- 今日ワークショップをやってみて、感じたことは沖縄には自分の知らないことがたくさんあった。ここではたくさんお人が亡くなってしまっているということを改めて実感しました。沖縄に行ったら今日学んだことを生かしていけたらと思いました。



## 2/7ワークショップ@具志川高校

### 1. 今回のワークショップについて、あてはまるものを選んでください。

- 5: とても良かった ..... 51人
- 4: 良かった ..... 3人



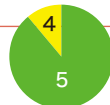
### 2. 講師の説明については、いかがでしたか？

- 5: とてもわかりやすかった ..... 51人
- 4: わかりやすかった ..... 3人



### 3. ワークショップの進め方については、いかがでしたか？

- 5: とても良かった ..... 48人
- 4: 良かった ..... 6人

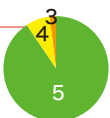


### 4. 講師やメッセージ、クラスメイトの発言で印象に残っているものはありますか？

- 気づかないうちに洗脳されていることにビックリした。「ありがとう。これで戦争ができます。」
- 沖縄戦は時間稼ぎの為に行われたこと。
- スイスやフランスが資本の盾で平和を作っている。
- 講師の「洗脳にかかってくれてありがとうございます。」という発言が印象に残った。
- 自分たちがとった行動が気づかないうちに戦争の方向に向かっていった事。
- 交渉は難しいと思い抑止力を選んだのですが、実は戦争をする準備の一部だったことにしました。
- 「軍事力・抑止力・交渉のどちらかを選んでも戦争になる」という言葉
- 情報操作はほんと簡単にできる。
- 最後の締めで講師の方が「今、この年はもしかしたら戦前なのかもしれない」という言葉にドキッとしました。
- 戦争をしないために抑止力を上げ続けたら、最終的に戦争になるんじゃないかという発表に納得しました。
- 武力以外で解決できないか
- 情報やメディアを鵜呑みにするのではなくこの情報は戦争に向かわせてるのかななども自分に力で見分けることが大切。
- 今の社会の動きは平和に向かっているのか戦争に向かっているかを見つめる。
- 抑止力の強化で戦争の準備が出来たという言葉が印象に残った。

### 5. ワークショップを通して、平和への理解が深まりましたか？

- 5: とても深まった ..... 49人
- 4: 深まった ..... 4人
- 3: どちらでもない ..... 1人



### 6. ワークショップを受講する前と後では、あなた自身の平和に対する考えに、変化はありましたか？

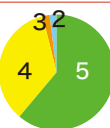
- 5: とても変化があった ..... 31人
- 4: 変化があった ..... 17人
- 3: どちらでもない ..... 3人
- 2: あまり変化はなかった ..... 1人
- 1: 変化はなかった ..... 2人



- 何個か悲惨な体験のカードがあった。
- 自分たちが平和の為に抑止力を選んだと思っていたがそれをもニッキー大統領に洗脳されたことが分かったときはびっくりして考えが変化しました。
- 国民の意思を戦争へ仕向けるのがこんなにも簡単だと思わなかった。社会状況を見て考え行動する大切さが分かった。
- グループの人の意見も聞いて考え方が変わった。
- 戦争は国民も初めは望むものであったと知ってびっくりした。自分が今おかれている状況は平和に向かっているのかちゃんと改めて考えようと思った。
- 私たちが戦争を起こさないようにするためにはどうしたらいいか考えるようになった。
- 私は常に武力を必要としない平和と抑止力を考えている。
- 平和って意外と難しいなど感じたから。
- 今ある情報も、もしかしたら、洗脳の情報かもしれないから気を付けようと思った。
- いつ戦争が起きてもいいという状況下にあるとしたら、自分は戦争のことについて何も知らなくて、自分が周りの人を助けることが出来ないと感じた。
- 知らない間に戦争をするという思考に向かわせられているかもと思った。
- 自分の意見で故意でなくとも戦争が始まることもあると知ったので、何が平和につながるのか慎重になるべきだとおもったから。

### 7. あなたの周り(学校や家庭)、社会が平和であるために、あなたは今後何かしたいと思いますか？

- 5: 強く思う ..... 33人
- 4: 思う ..... 19人
- 3: どちらでもない ..... 1人
- 2: あまり思わない ..... 1人



- たくさんの情報があふれている社会でそれらを鵜呑みにしないこと。
- 今日この2時間で学べたことはとても大きいです。だからこの先何十年もある中でできることは大きいです！
- 今、世の中で起こっている問題に目を向ける。
- 情報の取捨選択をしっかりと行う。
- 今日のことを家族に話したいと思った。
- 体験者の話を聞きたい。
- 戦争をせずに平和であった方がいいし、私の意見を主張していくことで平和への道が開けるかもしれない。
- 自分の行動が未来に与える影響について考えたから。
- 主体的に行動することでより平和に対する思いが強くなりそうだから。
- 特に何かしたいという明確なものはないけど、時事問題やニュースに目を向けて知識を少しでも得たい！！
- 自分が学んだことを周りに伝えることが平和につながるのだと思うから。
- 武力(力)を持つとせず、交渉でどうにかする。
- 県外の人にも伝えたいと思った。
- 何かしないと今後平和でなくなるかもしれないから。
- 周りに任せっぱなしになっていたら取り返しがなくなりそうだから。
- 何をしたらいいのかわからないけど、何かした方がいいと思う。

### 8. 今回のワークショップについて、質問・感想を自由にご記入ください

- 戦争のはじまり方がわかった。
- 今日の授業を通して戦争が始まるまでの流れがわかったような感じがした。洗脳されないように頑張りたい。
- 自分は戦争一直線で洗脳をされやすい人なんだと分かった。
- 沖縄戦について知らないこともあったのでそれを知れてよかった。
- 今まで小中高で何回も平和について学んできましたが、一番衝撃をうけました。
- 戦争についての異なる視点で考えることが出来て楽しかった。
- 抑止力という言葉を知った。
- 戦争に対する認識を改めるいい機会になったと思う。県民である以上に平和は世を創る為、何かしら尽力したいと思う。
- 最善だと思っていた選択が最悪の未来につながるかもしれないということを授業の最後に学んでとても衝撃を受けた。
- いつもとは違う平和学習になって楽しかった。
- 私はプロパガンダに流されなかった。やはり資本の盾によって平和は作れるのだ。プロパガンダに流されやすい国民の社会状況などもあった方がいいと思う。
- 洗脳って怖いと思いました。自分たちがどうするか考えることが大切だと思いました。今回はありがとうございました。
- 受け身よりも、主体的に平和を学ぶ大切さを知った。
- どんな状況でも武力を使ったり武器を創ったりすることはダメだと思った。今までこのようなグループワークはなかったので面白かったです。
- 昔の沖縄戦を知ることも大事だと思ったけど、現在の状況も正しく知る必要があると感じた。大学生からのワークショップだったので少し身近に感じた。自分の沖縄に対する知識が浅かったのも、もっと情報を集めたいと思いました。
- 戦争に行くまでの権力者のプログラムがあるということが分かった。
- 私たち若者が命の尊さを発信していきたいです。
- 「交渉」でどうにもならない時の正しい行動ってなんだろうと思った。
- 情報の開示の仕方でも人を操ることが出来ることを知れたのでその情報にどんな背景があるのか知る必要があると思った。
- 知らない間に権力者に誘導させられるのが怖いと思った。戦争になるシナリオというのを知り、国民の判断をしっかりとしないといけないし、疑問を持つことが大事だと思った。
- 戦争について自分目線で考えるきっかけになった。



# ピースフルワークショップ アンケート結果

	ワークショップについて															平和への理解														
	1. 今回のワークショップについて、あてはまるものを選んでください。(アが「とても良かった」)					2. 講師の説明については、いかがでしたか？(アが「とてもわかりやすかった」)					3. ワークショップの進め方については、いかがでしたか？(アが「とても良かった」)					4. ワークショップを通して、平和への理解が深まりましたか？(アが「とても深まった」)					5. ワークショップを受講する前と後では、あなた自身の平和に対する考えに、変化はありましたか？(アが「とても変化があった」)					6. あなたの周り(学校や家庭)、社会が平和であるために、あなたは今後何かしたいと思いますか？(アが「強く思う」)				
	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ
コザ高校 1学年	235	103	5	2	0	256	84	5	0	1	232	107	6	1	0	207	137	1	1	0	75	215	26	20	10	111	194	33	7	1
コザ高校 2学年	253	75	5	0	1	278	55	1	0	0	266	61	7	0	0	241	86	4	0	3	113	161	20	20	20	119	173	34	4	4
コザ高校 3学年	268	71	4	1	0	270	68	5	0	1	260	73	7	1	3	251	90	3	0	0	120	174	25	15	10	134	170	35	4	1
中部農林高校	33	6	0	0	0	34	5	0	0	0	33	6	0	0	0	23	16	0	0	0	11	23	4	0	1	13	21	3	0	0
真和志高校	11	4	1	0	0	10	5	1	0	0	11	3	2	0	0	7	9	0	0	0	4	6	5	1	0	3	4	8	0	1
陽明高校	14	2	0	0	0	14	2	0	0	0	12	4	0	0	0	13	3	0	0	0	6	8	1	0	1	5	8	1	1	0
調布北高校 2年1組	13	9	0	0	2	13	20	0	1	0	12	17	3	0	1	15	15	1	1	1	7	19	5	2	1	9	21	3	1	0
調布北高校 2年2組	26	9	1	0	0	26	9	1	0	0	23	13	0	0	0	25	9	2	0	0	9	16	4	4	2	14	17	3	1	0
調布北高校 2年3組	24	10	2	0	0	24	12	0	0	0	21	14	1	0	0	19	17	0	0	0	9	20	4	1	2	16	17	2	1	0
調布北高校 2年4組	29	8	0	0	0	33	4	0	0	0	28	9	0	0	0	27	10	0	0	0	15	16	2	3	1	16	20	1	0	0
調布北高校 2年5組	22	11	1	0	0	24	9	1	0	0	23	10	1	0	0	22	9	2	0	0	10	16	5	2	1	13	17	3	0	1
調布北高校 2年6組	17	17	3	0	0	23	13	1	0	0	19	15	2	1	0	18	17	2	0	0	9	19	8	1	0	10	22	4	1	0
南中学校 2年1組	19	10	0	0	0	20	8	1	0	0	18	11	0	0	0	17	12	0	0	0	8	20	0	1	0	10	16	2	0	1
南中学校 2年2組	27	6	0	0	0	24	9	0	0	0	25	8	0	0	0	26	7	0	0	0	11	16	3	1	1	14	18	1	0	0
南中学校 2年3組	19	9	1	0	0	20	9	0	0	0	20	8	1	0	0	18	12	0	0	0	12	12	2	4	0	16	12	2	0	0
南中学校 2年4組	29	6	0	0	0	29	6	0	0	0	24	11	0	0	0	28	7	0	0	0	20	11	1	1	2	18	16	0	0	0
南中学校 2年5組	23	5	0	0	0	23	5	0	0	0	23	5	0	0	0	22	6	0	0	0	9	16	2	0	1	11	13	4	0	0
具志川高校	51	3	0	0	0	51	3	0	0	0	48	6	0	0	0	49	4	1	0	0	31	17	3	1	2	33	19	1	1	0
合計	1113	364	23	3	3	1172	326	16	1	2	1098	381	30	3	4	1028	466	16	2	4	479	785	120	77	55	565	778	140	21	9

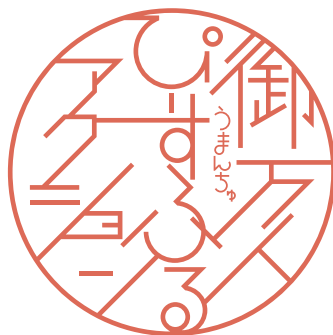
自由回答はそれぞれのページをご覧ください。

※沖縄国際大学は、唯一大学生を対象とした授業であったので、設問に自由回答を増やして回答してもらった。

	ワークショップについて										平和への理解																			
	1. 今回のワークショップについて、あてはまるものを選んでください。(アが「とても良かった」)					2. ワークショップの中で印象に残ったのは？					3. ワークショップを通して、平和への理解が深まりましたか？					4. 「今の社会」が「過去の沖縄戦」と重なっている部分はありますか？(ワークショップを通して考えたこと)					5. 今は戦後75年。しかし、戦前??年かもしれない。今を戦前にするために、あなたができることは何ですか？					6. 今回のワークショップについて、質問・感想を自由にご記入ください。				
	ア	イ	ウ	エ	オ	自由回答					ア	イ	ウ	エ	オ	自由回答					自由回答									
沖縄国際大学 (1回目)	同じ生徒を対象とした講座のため2回目に回答してもらった。					自由回答のため、個別ページ参照					同じ生徒を対象とした講座のため2回目に回答してもらった。					自由回答のため、個別ページ参照					自由回答のため、個別ページ参照					自由回答のため、個別ページ参照				
沖縄国際大学 (2回目)	53	11	0	0	0	自由回答のため、個別ページ参照					46	18	0	0	0	自由回答のため、個別ページ参照					自由回答のため、個別ページ参照					自由回答のため、個別ページ参照				
合計	53	11	0	0	0						46	18	0	0	0															







うまんちゅ  
**御万人びーすふるアクション**

令和3年度

沖縄平和啓発プロモーション事業

主 管 沖縄県 子ども生活福祉部 女性力・平和推進課  
平和推進班

受 託 株式会社サン・エージェンシー

事業監修 野添文彬（沖縄国際大学 法学部地域行政学科 准教授）

うまんちゅ  
御万人びーすふるアクション 事業報告書

令和4年（2022年）3月18日

企画・発行 沖縄県

編集・制作 株式会社サン・エージェンシー（平良賢一 野島奈美）

資料制作 株式会社サン・エージェンシー（狩俣日姫 諸喜田結奈 森口直人）



沖縄県子ども生活福祉部女性力・平和推進課(平和推進班)

沖縄県那覇市泉崎1丁目2-2

TEL:098-866-2500 FAX:098-866-2589

U M A N C H U P E A C E F U L A C T I O N